|  |
| --- |
| **平成28年の大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き**  　　　　　　　　　　　　　　　大阪府総務部統計課 　勤労・教育グループ  　《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin_n/index.html> 》 |

統計トピックス２

平成29年３月に、平成28年の「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」（速報）を公表しましたので、その概要を紹介します。

**１　主な動き（平成28年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**

(1)賃金の動き

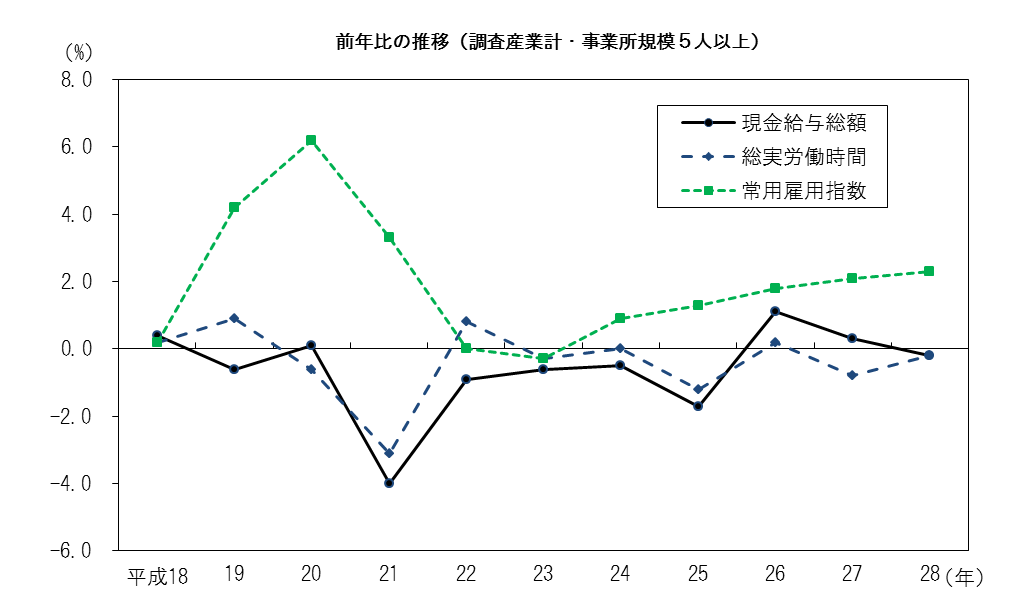
現金給与総額は、334,322円。名目賃金指数は98.4で前年比は、0.2％の減少となり、平成25年以来、３年ぶりに減少しました。

(2)労働時間の動き

総実労働時間は、142.8時間。労働時間指数は97.7で前年比は、0.2％の減少となり、平成27年以降、２年連続で減少が続いています。

(3)雇用の動き

常用雇用指数は、108.3で前年比は、2.3％の増加となり、平成24年以降、５年連続で増加が続いています。

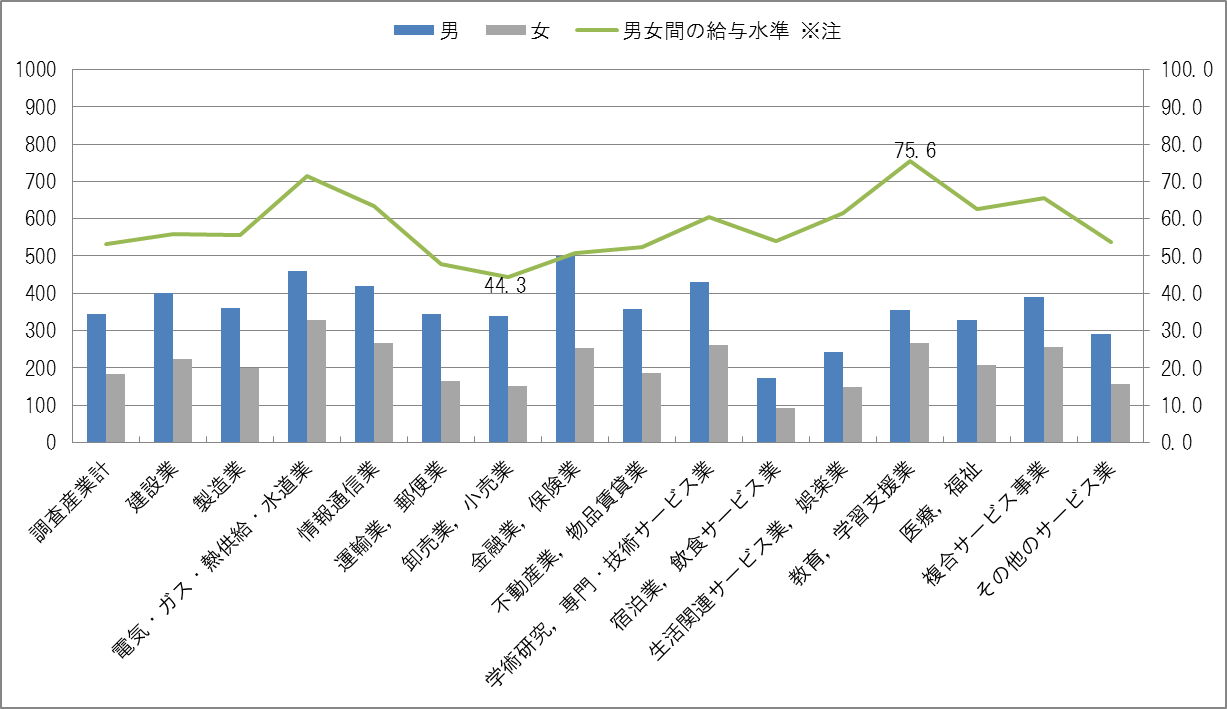
****

**２　男女間賃金の比較（平成28年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**

平成28年の男性のきまって支給する給与水準を100.0としたときに、女性のきまって支給する給与水準は、大阪府では「卸売業，小売業」が 44.3（約4.4割）となり格差が最も大きく、「教育，学習支援業」が 75.6（約7.6割）となり格差が最も小さい。

また、全国平均においても、「卸売業，小売業」が 47.1（約4.7割）となり格差が最も大きく、「教育，学習支援業」が 71.1（約7.1割）となり格差が最も小さい。

**産業別における男女のきまって支給する給与の比較（規模5人以上、男女間の給与水準：男性=100）**



(千円)

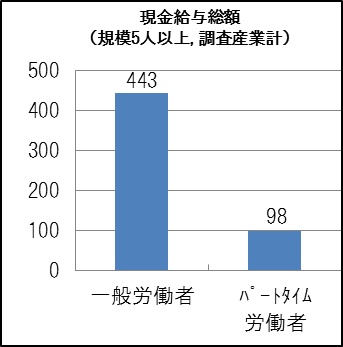
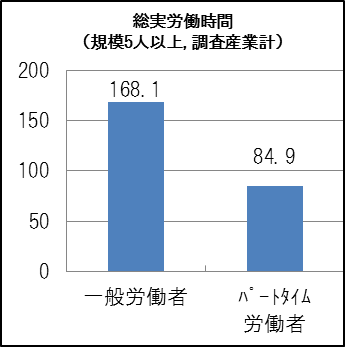
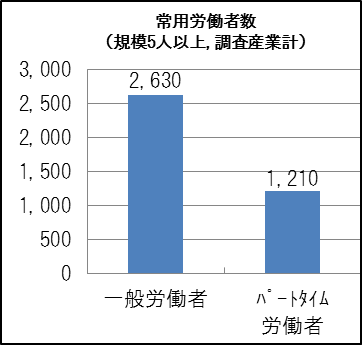
【注】水準は男性を100とした場合の女性の値

**３　就業形態別賃金、労働時間及び雇用（平成28年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**

賃金、労働時間及び雇用を就業形態別（一般労働者とパートタイム労働者）にみると、現金給与総額は、一般労働者が 443,164円、パートタイム労働者が 97,629円となった。

一方、総実労働時間は、一般労働者が 168.1時間、パートタイム労働者が 84.9時間となった。

また、常用労働者数は、一般労働者が 2,629,955人、パートタイム労働者が 1,210,320人となった。



(千人)

(千円)

(時間)